

議会改革特別委員会検討事項（平成30年1月16日）

《1月11日実施の滋賀県大津市における行政視察を踏まえた議事堂のあり方についての意見交換》

草加新政	公明党	共産党	自由市民クラブ
<ul style="list-style-type: none"> ・建物は古かったが、機能的に配慮されていた ・採決システムは押しボタン式で現実的な対応をとっていると感じた 	<ul style="list-style-type: none"> ・建物は古いが、傍聴席からトイレへ直接通り抜けられるのは良い ・採決システムは、押しボタン式で賛成のみ押すようになっていて、スクリーンに反映されるのは良い 	<ul style="list-style-type: none"> ・建物が古いのでバリアフリーではなかった ・採決システムとタブレットは別で切り分けていたのは参考になる ・タブレットを活用して本会議で使用したデータを議事録に載せるのは、良い ・タブレットの導入に当たっては、個人が持ち歩いてネットを見ることができると考えると、費用の一部が個人負担となることは一定必要であるが、その一方で全員が半強制的に使わなければならないというのは、考えなければならない 	<ul style="list-style-type: none"> ・議場は歴史的な趣があって良かった ・議場から直接トイレに行けるのは参考になった ・タブレットは操作方法の研修で議員が使えるようになるなら良い ・全体的に参考になった

《1月11日実施の滋賀県大津市における行政視察を踏まえた災害時における議会としての対応についての意見交換》

草加新政	公明党	共産党	自由市民クラブ
<ul style="list-style-type: none"> ・草加市と大津市では起こる災害の種類は少し違うが、課題は同じ ・執行部が主体的に活動するのに当たって、議会側が情報提供をするというかたちになっていたので、草加市としても必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・説明の中で、「想定外という言葉で片付けないで、細かく規定した」とあった。どこまで細かく決めるかは別として、それぞれの役割を明確にすることは大事 	<ul style="list-style-type: none"> ・BCPの主旨は参考になるもので、重要である ・災害時、議会が災害対策本部に入るのではなく、議会として独立とすることは参考になる ・災害対策本部設置に準じて議会のBCPも立ち上がることは課題がある。大津市は通年議会であるからBCPも一体的に対応できる ・初動時も専決処分があるとの説明があった。どこまでのものを作るか、運用面について検討が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・心にすくとんと落ちなかった ・BCPとしてそこまでやる必要があるのか。議会と執行部、それぞれの役割がある ・災害時、事務局職員は執行部の仕事を免除してもらっていて、議会として必要なかたちであると感じた ・議員へのサバイバルバッグの配付は参考になった

《議事堂のあり方について》

項目	各委員からの主な意見及び検討結果
議事堂のレイアウト	新庁舎議事堂平面図（基本設計案）をもとに協議の結果、今後も引き続き検討していくことを決定しました。
議場スクリーン	<p>【各委員からの主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大津市を視察して、大型スクリーンが見やすかったので、必要 ・ 設置した方がよい ・ 会派に持ち帰り、協議する ・ まとまるところで <p>協議の結果、今後も引き続き検討していくことを決定しました。</p>
タブレットの導入	<p>【各委員からの主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 導入に向けた設備は整えた方がよい ・ 時代の流れとともにいろいろ考えられるので、今後の検討課題 ・ 導入時期や活用方法は別での検討であるが、導入に向けた設備は整えておくべき ・ 会派に持ち帰り、協議する ・ まとまるところで <p>協議の結果、今後も引き続き検討していくことを決定しました。</p>

《3月22日の委員会で提案された検討項目》

項目	検討結果
災害時における議会としての対応について	協議の結果、今後も引き続き検討していくことを決定しました。